

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330241041	ICT実践演習 ICT Practical Exercises	栗村 正仁			2	必修	4前期

科目の概要
 学校・保育園等は、授業等でタブレットPCをはじめとする情報端末・デジタル機器を活用している。また令和2年度から実施されている小学校学習指導要領では、プログラミング教育が必修となっている。
 本授業では、学校・保育園等での課題に対する理解を深め、教育の情報化について専門的な知識と技能ならびに思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を身につけた教育者・保育者の育成をめざす(DP1,3)。そのため、教育に用いられる情報端末・デジタル機器について、思考を深め個に応じた学習を進めるためのツールとしての活用を学ぶ。これらを基に教材研究ならびに教材作成と、その発表を行い、情報端末・デジタル機器の効果的な活用ができることをめざす(DP5)。

学修内容	到達目標
① ICTの特徴と操作を学び、授業等での活用を学ぶ。 ② ICTの特徴を生かした教材を作成し発表する。 ③ 情報活用能力の育成の具体を学ぶ。 ④ ICTの新しい動向の具体を学ぶ。 ⑤ 校務・園務の情報化を推進するための具体を学ぶ。 ⑥ 教育者・保育者に求められるICT活用指導力の向上をめざす。	① ICTの特徴と操作を知り、実際の授業で活用することができる。 ② ICTを活用した教材を作成及び発表することを通して、実際の授業への応用を考慮することができる。 ③ 情報活用能力を、子どもに適切に指導できる。 ④ ICTの新しい動向の特徴と操作を知り、実際の授業等で活用することができる。 ⑤ 校務・園務の情報化を推進するために具体的な内容を挙げるることができる。 ⑥ 教育者・保育者に求められているICT活用指導力の向上をめざす態度を示す。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	ICTの活用に関心を持ち、教育に積極的に生かそうとする。
	働きかけ力	情報活用能力の育成の具体を知り、子どもに適切に指導できる。
	実行力	授業における教材研究等を通して、適切な場面でICTを活用することができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの実態把握等をとおして、どのようにICTを活用することが効果的であるかに気づくことができる。
	計画力	ICTを活用するために、適切に機器を準備したり管理したりしながら、授業等に向かうことができる。
	創造力	ICTの活用をとおして、従来のメディアでは難しかった指導方法等を考えることができる。
チームで働く力	発信力	ICTの効果的な活用について、他の学生等との意見交換等を通して、創造的に構築し、実際の指導に活用することができる。
	傾聴力	ICTの効果的な活用について、他の学生や教員の意見や、ネット等で調べた知見を参考にし、クリティカルに判断することができる。
	柔軟性	ICTの効果的な活用について、実際のデータや事例を通して、自らの考えに固執することなく、取捨選択することができる。
	状況把握力	ICTの効果的な活用について、子どもの実態に応じて、適切な指導を選択することができる。
	規律性	予習・復習を継続的に実施し、課題等の提出期限や、他のルールを遵守することができる。
	ストレスコントロール力	ICTの効果的な活用について、グループ学習等を通して、過度なハレーションやマウント等に陥ることなく、適切なコミュニケーションをとることができる。

テキスト及び参考文献

参考文献
 文部科学省「教育の情報化に関する手引-追補版-」2020年。
 文部科学省「小学校プログラミング教育の手引（第三版）」2020年。
 末松加奈編『やさしく学ぶ教職課程 幼児と児童のための教育とICT活用』学文社、2023年。
 梅田恭子、齋藤ひとみ監修『ICT活用指導力アップ！ 教育の情報化 改訂版 教員になるための情報教育入門』実教出版、2025年。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：本授業は、学部共通科目「情報リテラシー I・II」を基礎とし、「教育方法論」や「教育課程総論」など教育の基礎的理解に関する科目で修得した知識・技能を基盤に、教育現場におけるICTの具体的・効果的な活用法を学習していく。そして4年後期での「幼小連携」へと繋がっていく。
 資格との関連：小学校教諭

学修上の助言	受講生とのルール
ICTを使うことが「目的化」しないように気を付けましょう。	①遅刻3回で欠席1回とするとともに、授業開始後20分以上の遅刻は欠席扱いとする。 ②課題を提出したと認定されるには、提出期限等の指示を守る必要がある。 ③授業中に配布した資料は、一部を除き本学e-Learningシステム (Google Classroom) で配信する。欠席時における配布資料の補充や自主学修等で活用されたい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	⑥	✓	（獲得）情報端末やデジタル機器に関する基礎知識を習得し、学校・保育園等でICTを活用する意義を理解できる。（40%） （活用）学校・保育園等における現状や課題を踏まえたうえで、ICTの活用方法の具体を述べることができる。（40%） （解決）ICTの活用が、学校・保育園等の教育活動や授業において、どのような発展や効果が得られるのかを述べることができる。（20%）	
				②					
				③	✓				
				④	✓				
				⑤	✓				
	平常評価	小テスト		0	①		⑥		
					②				
					③				
					④				
					⑤				
		レポート		20	①	✓	⑥		ICT機器を用いて作成した課題の提出 （獲得）情報端末やデジタル機器の特性や、操作に関する基礎知識を習得できる。（40%） （活用）課題の目的に応じて、内容や表現等を創意工夫できる。（40%） （解決）課題の目的を達成できる。（20%）
					②				
					③	✓			
					④	✓			
					⑤	✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①	✓	⑥	✓	（獲得）学校・保育園等におけるICT活用のための教材研究を行うことができる。（30%） （活用）ICTを活用した教材作成及び発表等を行い、適切に指導を行うことができる。（60%） （解決）他者の教材等を適切に評価することができる。（10%）		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	（主体性）学校・保育園等におけるICTの活用に積極的な関心を持ち、学校・保育園等での教育に生かそうとする。 （実行力）自ら進んでICTを活用した教材等の開発を行い、実際に授業等で指導しようとする。 （課題発見力）現在の授業においてICTを活用することによって、より発展させることが可能な場面を発見することができる。 （創造力）情報端末やデジタル機器の必要な場面を発見した後、従来の方法に囚われない有効な活用方法を考えることができる。 （発信力）ICTの活用の特徴を理解し、実際の指導に活用することができる。 （傾聴力）ICTの活用について、さまざまな他者からの意見を聴き取ることができる。 （規律性）予習・復習を継続に実施し、課題の提出期限やルールを遵守することができる。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>●到達レベルS</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報活用能力を深く理解し、ICT活用指導力および校務・園務の情報化を有効に活用する方法を述べることができる。学習指導要領に示された授業のあり方を深く理解し、ICTを活用した教材作成及び発表等ができる。情報端末やデジタル機器を、学校・保育園等で効果的に活用できるだけでなく、適切な操作ならびに管理でき、他者に指導できる。 <p>●到達レベルA</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報活用能力を理解し、ICT活用指導力および校務・園務の情報化を有効に活用する方法を述べるができる。学習指導要領に示された授業のあり方を理解し、ICTを活用した教材作成及び発表等ができる。情報端末やデジタル機器を、学校・保育園等での教育活動や授業等で有効に活用するために、適切に操作ならびに管理することができる。 	<p>●到達レベルB</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報活用能力を概ね理解し、ICT活用指導力や基本的な校務・園務の情報化を活用する方法を述べることができる。学習指導要領に示された授業のあり方を概ね理解し、ICTを活用した教材作成及び発表等ができる。情報端末やデジタル機器を、学校・保育園等での教育活動や授業等で有効に活用するために、基礎的な操作ならびに管理することができる。 <p>●到達レベルC</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報活用能力を最低限理解し、ICT活用指導力や基本的な校務・園務の情報化を活用する方法をおおよそ述べることができる。学習指導要領に示された授業のあり方を最低限理解し、ICTを活用した教材の作成及び発表等ができる。情報端末やデジタル機器を、最低限の操作ならびに管理することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス 教育におけるICT活用の意義と在り方 ・ICTの概要や、教育におけるICT活用の意義と在り方について学ぶ	・講義 ・演習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・ICTの概要や、教育におけるICT活用の意義と在り方を理解することができる	(予習) ICTについて調べる。 (復習) ICTの概要や、教育におけるICT活用の意義と在り方をノートにまとめる。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力
2	教育におけるICT活用の社会的背景・動向 ・教育におけるICT活用の社会的背景や動向について学ぶ	・講義 ・演習 ・グループワーク ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・教育におけるICT活用の社会的背景や動向を理解することができる	(予習) 教育におけるICT活用の現状について調べる。 (復習) 教育におけるICT活用の社会的背景や動向をノートにまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	校務の情報化の方法 ・校務の情報化の概要を学んだうえで、学習管理システム (Google Workspace for Education) 等を用いて体験する	・講義 ・演習 ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・校務の情報化の概要、すなわち目的や必要性等について、簡単に述べるができる ・学習管理システムを操作できる	(予習) 現在、どのような校務支援システムが開発されているか調べる。 (復習) 校務の情報化が可能な他の事例について調べる。	180	主体性 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 ストレスコントロール力
4	教科指導におけるICTの活用方法 ・教科指導におけるICTの活用方法を理解したうえで、実際の授業を分析する(学習指導案の作成を含む)とともに、ICT機器を用いて体験する	・講義 ・演習 ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・教科指導におけるICTの活用方法を理解し、学習指導案を作成するとともに、ICT機器を操作できる。	(予習) 学習指導要領を読むとともに、授業等でICTが活用されている場面を調べる。 (復習) 教科の特性等を踏まえて、デジタル機器やアプリの特徴と使用方法を整理する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	園務の情報化の方法 ・園務の情報化の概要を学んだうえで、Canva等を用いて体験する	・講義 ・演習 ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・園務の情報化の概要、すなわち目的や必要性等について、簡単に述べることができる ・Canva等を操作できる	(予習) 現在、どのような園務支援システムが開発されているか調べる。 (復習) 園務の情報化が可能な他の事例について調べる。	180	主体性 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 ストレスコントロール力
6	保育におけるICTの活用方法 ・幼児教育における遊びとICT機器について学んだうえで、保育における子どもの育ちを豊かにするICT活用事例を検討し、体験する	・講義 ・演習 ・グループワーク ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・幼児教育における遊びとICT機器について理解したうえで、保育のためのICT機器を操作できる	(予習) 保育・幼児教育における遊びについて調べる。 (復習) ICTを活用した保育の様々な実践事例について調べる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	特別支援教育におけるICTの活用方法 ・特別な支援を必要とする子どもへのICT活用の概要を学んだうえで、障害特性に応じたICT活用を、アプリケーションを用いて体験する	・講義 ・演習 ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・特別支援教育におけるICT活用の意義を理解し、支援のためのさまざまなアプリケーションがあることを知り、それを操作できる	(予習) 特別支援教育の概要について調べる。 (復習) 特別な支援が必要な子どもを支援するための様々なアプリケーションやICT機器について調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
8	情報モラルを育成するための指導法 ・情報モラル教育の概要と、教材を分析し授業プランを作成する方法を学ぶ	・講義 ・演習 ・グループワーク ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・情報モラルの概要を述べるができる ・情報モラルを育成するための指導法を理解できる	(予習) 文科省「情報モラル学習サイト」< https://www.mext.go.jp/moral/#/ >を閲覧する。 (復習) 情報モラルを育成するための指導法の要点をまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 傾聴力 柔軟性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	プログラミング教育の理論と方法 ・プログラムの概要と、プログラミング教育の理論と方法について、保育教育現場における実践事例とともに理解したうえで、Scratchを用いて簡単なプログラムを作成する	・講義 ・演習 ・グループワーク ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・プログラミング教育の概要を理解し、Scratchを操作することができる	(予習) 自分が受けたプログラミング教育はどのようなものであったか考える。 (復習) Scratchを用いて簡単なプログラムを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	プログラミングの体験 ・Scratchを用いたプログラムの作成を完了させ、プログラミングを体験的に理解する	・演習 ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・Scratchを用いて簡単なプログラムを作成しながら、プログラミングについて体験的に理解できる	(予習) Scratchを用いて簡単なプログラムを作成する。 (復習) Scratchの幼児向けプログラミング言語「ScratchJr」を体験する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	遠隔・オンライン教育におけるICTの活用方法 ・遠隔・オンライン教育の概要とICTの活用方法を学んだうえで、Web会議システムを用いて基礎的な遠隔・オンライン教育の方法を学ぶとともに、先進的な実践事例(広域交流型オンライン学習(広島大学教育ビジョン研究センター))を検討する	・講義 ・演習 ・グループワーク ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・動画視聴 ・質疑応答	・遠隔・オンライン教育におけるICTの活用方法を理解し、遠隔教育のためのWeb会議システムを操作できる	(予習) 自分が受けたことのあるオンライン授業では、ICTがどのように活用されていたか考える。 (復習) 広島大学教育ビジョン研究センターのWebサイト< https://sip-dcc.hiroshima-u.ac.jp/ >にアクセスし、様々な実践事例を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
12	ICTを活用した教材の作成① ・ICTを活用した教材作成の方法について理解したうえで、PowerPointを使って教材を作成する	・講義 ・演習 ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・ICTを活用した教材作成の方法について理解し、どのような教材を作成するか検討することができる	(予習) PowerPointの概要と基本的な操作方法を確認しておく。 (復習) PowerPointを使った教材作成に取り組む。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	ICTを活用した教材の作成② ・PowerPointを使って教材を作成するとともに、教材発表に向けた練習を行う	・演習 ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	・PowerPointを使って教材を作成できる	(予習) PowerPointを使って教材を作成する。 (復習) 教材発表の準備を行う。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	ICTを活用した教材の発表① ・グループ内で、個々の教材について発表した後、相互評価し、改善に向けた協議を行う	・演習 ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・グループワーク ・発表 ・質疑応答	・PowerPointを使って作成した教材を発表できる	(予習) 教材発表の準備を行う。 (復習) 作成した教材を、他者の評価をもとに、より良いものに改善する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	ICTを活用した教材の発表② ・各グループから推薦された教材を全体で発表した後、全体でシェアしながら、評価、改善に向けた協議を行う	・演習 ・ICTを活用した実習 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・グループワーク ・発表 ・質疑応答	・全体で発表された教材を、評価することができる	(予習) 教材発表の準備を行う。 (復習) 作成した教材を、他者の評価をもとに、より良いものに改善する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力